

TRIZ でキャリアデザイン

粕谷 茂(プロエンジニア教育研究所)

概要

大学や企業での学習と仕事の動機付けを増大させるために、キャリア教育が重視されるようになって来た。いままでのキャリアデザイン手法は、過去の経験、自分の興味、価値観などをベースに、デザインしていた。本報告では、TRIZ の考え方の適応可能性を検証するために、企業の新入社員を対象に「ライフデザイン(人生設計)」の分野で実証研究を実施した。その結果、TRIZ の考え方が、従来のキャリアデザインの方法だけに比べて、業務経験の少ない人々の動機付けにとって、非常に有益であった。

内容説明

この数年間、私は、キャリア教育の課題について、実証研究を実施した。学生や新入社員のように、業務経験の少ない人間にとって、キャリアデザインが、あまり効果的ではなかった。この課題を解決するため、TRIZ の二つの考え方を、キャリア教育に応用してみた。一つ目が、「究極の理想解」の考え方である。人生の目標を理想解に置き換えてみた。二つ目が、「抽象化」の考え方である。何のために働くのかを深堀りした。次のようなステップで、キャリアデザインを考えて、その結果を添付の表に記述していく。

<未来からのアプローチによるキャリアデザインのステップ>

Step1 場の設定(誰が、どこで、いつ)

Step2 目的展開(抽象化: 真の目的の設定)

Step3 価値観の設定

Step4 尺度(ものさし)の設定

Step5 目標値の設定

Step6 あるべき姿(理想解)、リスクの高い人生シナリオ、可能性の高い人生シナリオを立案

Step7 そのために、どんな専門知識、趣味、資格、能力、友人、配偶者、転職などを選択すべきかを考慮

年代	~30	31~40	41~50	51~60	61~80
めざすべき人生シナリオ(理想解)					
リスクの高い人生シナリオ					
可能性の高い人生シナリオ					
めざすべき人生実現のための学習項目					